

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31106	キャリアデザインⅣ CareerdesignⅣ	古橋・杉浦・ 吉田智	✓	基礎	1	選択	1後期

**科目の概要**

就職活動を目前にし、より深い自己分析を行うと共に、社会人基礎力のスキルの確認を行う。納得いく仕事に就くために志望業界や企業についての情報収集、企業研究を行い、エントリーシートを作成する。就職活動の見通しを立て、全体的な計画を考える。そして、ビジネスマナーを踏まえた面接対応の勘所を習得することで面接試験に臆せず臨めるようにする。授業中に指示する宿題としてのレポート作成を通じて文章指導を行い、ビジネスは勿論、コミュニケーションツールとして大切な文章力の養成も行っていく。また、この授業を通じて社会人基礎力及びpisa型学力を高めていくことにより有為な人材を育成する。この授業は、ディプロマポリシー（以下、DP）の①～⑤に相当する。これらを身につけるために行う。

学修内容	到達目標
① 志望業界、業種について、求人票の見方や業務内容を学ぶ。 ② 自己PR、志望動機などの再確認を行う。 ③ ビジネスマナーを踏まえた模擬面接から面接対応を学ぶ。 ④ 文章力向上の仕方を学ぶ。	① 企業研究により自分に合った企業、業種、職種を見つけることができる。（DP②） ② 自分を上手にアピールできる書類を作成できる。（DP①⑤） ③ ビジネスマナー、面接対応の勘所を習得することで面接試験に臆せず臨むことができる。（DP④） ④ 決められた時間内で論理的文章を書くことができる。（DP③）

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的な行動事例
---------------------	----------------------------

前に踏み出す力	主体性	授業以外の時間も使い、自分で企業研究を進めることができる。
	働きかけ力	
	実行力	エントリーシートや企業研究シートの添削指導を活かして、就職活動に実践していくことができる。
考え抜く力	課題発見力	自己分析の再確認を行うと共に客観的に自己分析を整理し、就職活動を前にして自分に何が課題となるかを見極めることができる。
	計画力	就職活動に見通しを立て、全体的な計画を考える
	創造力	固定観念に捉われることなく関心を持った業界、企業を研究し、多方面から可能性を考えることができる。
チームで働く力	発信力	面接対応の勘所を習得することで、相手に伝わりやすい自己PRの仕方（内容、声の大きさ、視線等）を考えて話すことができる。
	傾聴力	授業中の講義内容や授業中の他者への質問の回答に対して、確り聴くことができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	就職活動を行う際の身だしなみを整えた状態で授業を受けることができる。また、遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	エントリーシートや企業研究シートの添削指導を受けて、上手く出来なくても、長く引きずり落ち込むことなく次へ進むことができる。

**テキスト及び参考文献**

参考文献：愛知学泉短期大学就職の手引き

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連：キャリアデザインⅠ、キャリアデザインⅡ、キャリアデザインⅢ  
 資格関連性：上級秘書士(メディカル秘書)

学修上の助言	受講生とのルール
--------	----------

授業に必要な基礎知識の予習、復習、書類作成などは毎回宿題となるため、忘れずに準備を行うこと。 定期的にレポートを作成し自身を振り返ること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原則遅刻は認めない。なお、企業レポート・エントリーシート作成・提出時や模擬面接を行う際に、やむを得ず遅刻・早退・欠席する場合は、事前に必ず申し出る</li> <li>・授業中無駄話をする人は、注意、警告、退場の順に対応します。退場になると失格又は評価点は最低点とします。</li> <li>・携帯電話は机の上に出しておかないこと。</li> </ul>
--	--

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
	平常評価	小テスト		0	①			
					②			
					③			
					④			
		レポート		90	①		✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味のある企業を想定して「企業研究レポート」及び「エントリーシート」を作成する。</li> <li>・曼荼羅チャート、自己紹介シート、インターンシップ報告書を作成する。</li> <li>・授業の理解度を測る意味も込めて、小論文レポート(800文字程度)を、自分の考えを理解してもらえることを意識して、自らの言葉で作成する。</li> <li>・知識と技術の獲得とそれを活用し、就職に向けての課題を解決できたかどうかのpisa型学力も評価する。</li> </ul>
					②		✓	
③					✓			
④					✓			
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			0	①				
				②				
	③							
	④							
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	<p>(主体性) 授業で学んだ事を基に、授業外で更に深く進めることができる。</p> <p>(実行力) 模擬面接で受けた指導を次に活かして実行することができる。</p> <p>(課題発見力) 客観的に自己を分析し、自分に何が課題となるかを見極めることができる。</p> <p>(創造力) 積極的に企業情報を得て、多方面から可能性を考えることができる。</p> <p>(発信力) 面接対応の勘所を習得することで、その実践確認の際に、相手に伝わる内容、声の大きさ、視線等を考えて話すことができる。</p> <p>(傾聴力) 授業中の講義内容や授業中の他者への質問の回答に対して、確り聴くことができる。</p> <p>(規律性) ・遅刻、無断欠席など学習意欲欠如を来す行動をせず、ルールを守ることができる。・欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。・毎授業、就職活動を行う際の身だしなみを整えた状態で授業を受けることができ、スーツで自然に立居振る舞うことができる。</p> <p>(ストレスコントロール力) エントリーシートや企業研究シートの添削指導を受けて、上手く出来なくても、長く引きずり落ち込むことなく次へ進むことができる。</p>			
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
総合評価割合		100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
①自分の希望する業界及び企業研究ができています。 ②授業感想レポートで自分の考えを自分の言葉で表現できる。 ③模擬エントリーシートでは、自信を持ってあらゆる質問に的確な受け答えをすることが可能である。 ④自分の希望外の業界についてもある程度把握している。 S (秀) = ①+②+③+④+アルファ、 A (優) = ①+②+③+④	①自己分析は一通りできている。 ②授業感想レポートは自分の言葉で書くように努めている。 ③自己分析を基に、模擬エントリーシートの質問に対して何とか最後まで答えることができる。 ④自分が希望している業界研究ができています。 B (良) = ①+②+③+④、 C (可) = ①+②

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション、今後の就職活動の進め方について学ぶ。	シラバスを参照しながら、各回の講義概要を説明する。自分たちの将来についてのディスカッションも踏まえながら、この講義で学びを構想する。	各回の概要を説明しながらディスカッションしていく。就職活動の準備には、企業研究、エントリーシートが大切であることを理解することができる。	事前にシラバスを読み、自分の将来について考えてみる。事後には授業での説明事項をまとめておくこと。	90	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
2	社会人基礎力をそれが求められる社会的背景との関係性から把握し理解できるようになる。	社会人基礎力の種類とその活用方法について、実際のケースを交えながら解説を行う。パソコンを用いて、授業コメントをまとめ、その場で共有しながら議論する。	社会人基礎力について、3つの能力と12の要素を知ると共に、それらが求められる社会的背景についても理解することができる。	事前に学泉ノートの該当頁を読んでおくこと。事後には授業での説明事項をまとめておくこと。	90	主体性 課題発見力 規律性
3	社会人基礎力の行動指標を理解し、就職に向けての具体的なアクションがとれるようになる。	社会人基礎力の行動指標について講義し、ペアワーク等を通じたケーススタディを行う。パソコンも用いて、ワークの感想をまとめる。	社会人基礎力を発揮するポイントを理解し、就職に活用することができる。	事前に学泉ノートの該当頁を読んでおくこと。事後には授業での説明事項をまとめておくこと。	90	主体性 課題発見力 規律性
4	業界と職種の違いを知り、それぞれの内容を理解する。	業種と職業、それぞれの分類の仕方、その調べ方について講義する。パソコンをつかって、業界研究を進める。	様々な業界の概要とその情報収集の方法について理解することができる。	事前に配布する資料を読んでおくこと。事後には授業での説明事項をまとめておくこと。	90	主体性 発見力 創造力 規律性
5	業界研究および企業研究のレポートの作成方法について理解する。	業界研究および企業研究の方法について講義し、レポート作成のポイントを解説する。	業界研究および企業研究のレポート作成の方法について理解している。	事前に配布する資料を読んでおくこと。事後には授業での説明事項をまとめておくこと。	90	主体性 課題発見力 創造力 規律性
6	前回の授業で学んだことを踏まえて、業界・企業研究のレポートを作成する。	授業内で業界・企業研究のレポートを書き、ペアワーク等でブラッシュアップさせる。	業界・企業研究レポートを完成させることができる。	事前に配布する資料を読んでおくこと。事後には授業で作成したレポートを振り返っておくこと。	90	主体性 実行力 課題発見力 規律性
7	前回の授業で作成したレポートについての講評・添削の意図を理解できる。	前回の授業で作成したレポートについて講評し添削箇所を示して解説を行う。	レポート講評の内容を理解することができる。	事前に配布する資料を読んでおくこと。事後には作成したレポートの添削箇所を復習しておくこと。	90	主体性 課題発見力 創造力 規律性
8	業界・企業研究レポートについての講評・添削の意図を理解できる。	前回に引き続き、授業で作成したレポートについて講評し添削箇所を示して解説を行う。	レポート講評の内容を理解することができる。	事前に配布する資料を読んでおくこと。事後には作成したレポートの添削箇所を復習しておくこと。	90	主体性 課題発見力 創造力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	インターンシップのケースを知り、そのメリットが理解できるようになる。	インターンシップの事例を紹介し、そのメリットを解説する。	インターンシップの仕組みを理解できるようになる。	事前に配布する資料を読んでおくこと。事後には授業での説明事項をまとめておくこと。	90	主体性 課題発見力 規律性
10	エントリーシートの作成方法を学ぶ。	エントリーシートを作成し、ペアワークでブラッシュアップを図る	エントリーシートを作成することができる。	事前に配布する資料を読んでおくこと。事後には作成したエントリーシートを復習しておくこと。	90	主体性 実行力 課題発見力 規律性
11	ビジネスマナーについて学ぶ。	一般的なビジネスマナーを取り上げて、それらの大切なポイントについて解説する。	ビジネスマナーを理解し、適切に振舞うポイントが理解できるようになる。	事前に配布する資料を読んでおくこと。事後には授業での説明事項をまとめておくこと。	90	主体性 課題発見力 規律性
12	面接試験の際によく質問される質問事項の傾向について学ぶ。	面接の流れ、試験でよく質問される事項について、その傾向と対策を解説する。	面接の質問事項の傾向と時事的課題についての自己の認識度を測り、それらについて理解することができる。	事前に配布する資料を読んでおくこと。事後には授業での説明事項をまとめておくこと。	90	主体性 課題発見力 発信力 規律性 ストレスコントロール力
13	実践的な面接対応の勘所について、学ぶ。	面接試験の実際的な流れを模した演習を通して、面接対応の勘所を解説する。	面接試験の実際的な流れを模擬体感して、面接対応の勘所を理解することができる。	事前に配布する資料を読んでおくこと。事後には授業での説明事項をまとめておくこと。	90	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
14	就職課を活用した就職活動の進め方について	就職課でどのような情報を獲得することができるのか、またその具体的な活用する方法について解説する。	就職課を活用して就職活動することの意義を理解し、実際にアポをとって、就職課を訪問できるようになる。	事前に配布資料を確認しておく。事後には就職課を訪問すること。	90	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
15	総括 今迄の授業の総復習を行い、総括講評を学ぶ。	PCによるオンデマンド形式とする。これまでの講義を振り返る総括を行う。	今迄の授業の重要事項について、振り返り確認することができる。	事前に今迄の授業のおさらばをし、感想をまとめておくこと。事後には総括講評を復習しておくこと。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力